

水道管の凍結・破裂にご注意ください！

水道管（給水管）はあなたの財産です



水道管を寒さから守りましょう！



凍結するのはどんなとき？

・ 気温が氷点下になったとき

「**低温注意報**」が出たら特に注意！



※長崎市では、最低気温が「 -3°C 」になると予想される場合などに、発表されます。

凍結しやすいのはどんな水道管？

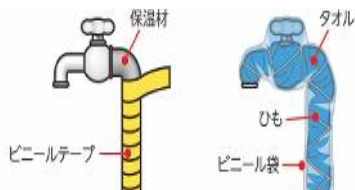
- ・ 屋外にある露出している水道管
- ・ 家の北側など日の当たらない場所にある水道管
- ・ 風当りの強い場所にある水道管



凍結を防止するためには？

① 屋外にある水道管を保温する

壁や石垣などにある水道管は直接冷気にさらされ、凍りやすくなっていますので、しっかり保温しましょう！

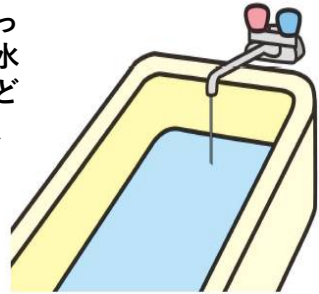


- ・ タオルなどの古布は、ひもやテープで固定し、雨や雪で濡れないように、ビニール袋などで覆って、ひもなどで補強します。
- ・ 水道管やじゃ口をタオルなどの古布や保温材(ホームセンター等で購入)などで覆います。

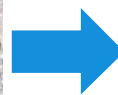
② じゃ口から少量の水を出し続ける

水道管を古布や保温材などで覆っても凍結する場合があります。水道を使用しない時間帯は浴槽などへ糸状に細く水を出しておく、より凍りにくくなります。

※溜まった水は洗濯などに利用すれば無駄になりません。水道料金は、200ℓの浴槽で一般的に約50円かかります。



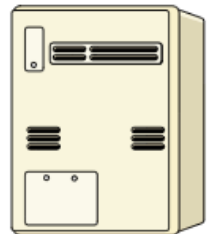
③ メーターボックス内を保温する



メーターボックスの中は空洞なので、冷気が入り込みます。発砲スチロールや古布などをビニール袋に入れて、すき間にしきつめることで、水道管に直接冷気があたるのを防ぎます。

④ 給湯器の対策を行う

給湯器内の配管など器具が凍結する恐れがあります。給湯器のメーカーや取扱店のホームページを参考にするか、または直接問い合わせして対策をお願いします。



※水道管の凍結防止方法は、動画でもお知らせしています！

市トク 凍結 で検索！



それでも凍ってしまったら？

うらへ

それでも凍ってしまったら？

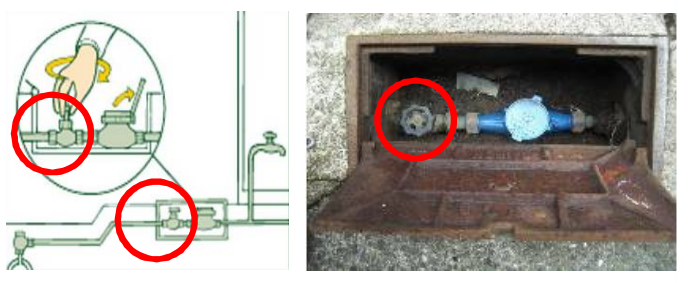
- ・ 気温が上がり自然に溶けるのを待ちましょう！
 - ・ または、凍った部分にタオルなどを被せてゆっくり「ぬるま湯」をかけてください。
- ※万一の凍結を考えて、トイレなどに使用するために、お風呂の残り湯を取り置くことも良い方法です。
- ※給湯器が凍結した時は、給湯器のメーカーや取扱店の指示に従ってください。

注意！

熱湯をかけると破裂する恐れがあるので絶対にかけないでね。

破裂してしまったら・・・

- ・ 水道管やじゃ口が破裂したとき
メーターボックス内の「ハンドル止水栓」を閉めすぐに長崎市指定給水装置工事事業者（※1）へ修理を依頼してください。
- ・ 止水栓が分からなかったり、水が止まらない場合は、上下水道局給水課へ連絡してください。

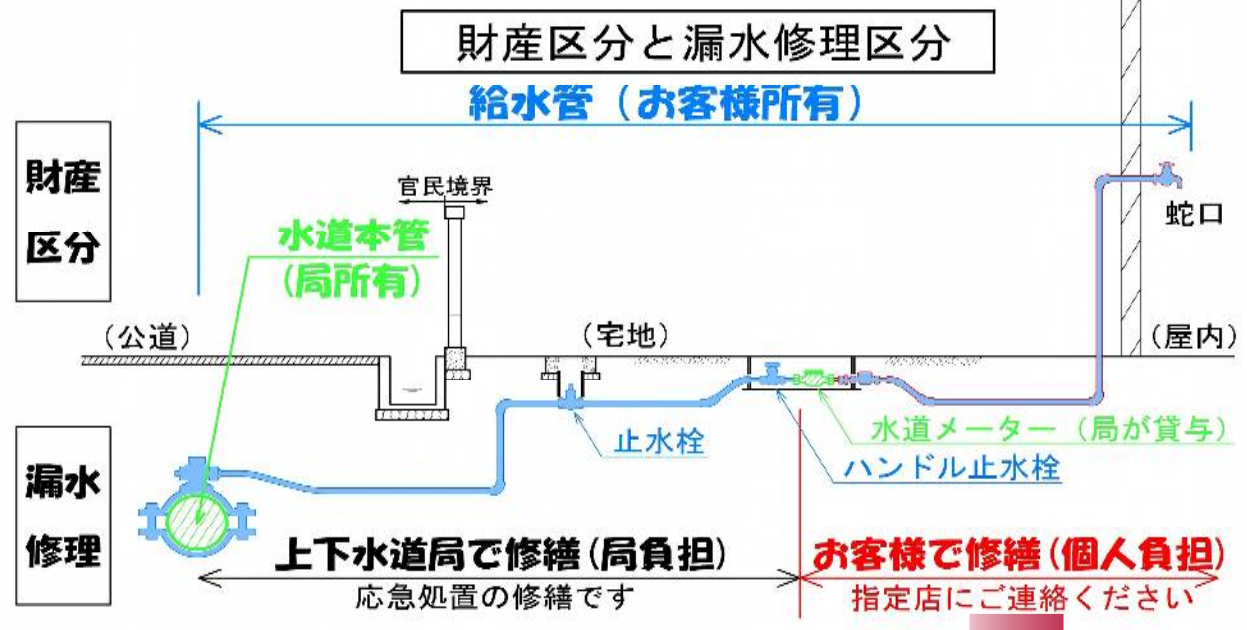


メーターボックス内（赤丸がハンドル止水栓）

※1 長崎市のホームページで確認できます。



給水管（水道本管の分岐部からじゃ口まで）はお客様の財産です。家庭でしっかり管理しましょう！



【お問い合わせ】
 長崎市 上下水道局 事業部 給水課
 電話：095-829-1212（直通）
 E mail：suido_kyuusui@city.nagasaki.lg.jp

長崎市指定給水装置工事事業者

